

虹のたより

コープおおいた機関紙
信頼される商品を食卓へ!



5月30日(水)、コープ上野の森口保育園ぞう組で「戸次新鮮野菜組合」と「首藤農園」(生協の店舗に野菜を納入していただいている生産者)のご協力により、畑でトマト、ナスの苗植え、インゲン豆の豆まきを行ないました。植えた苗の1本ごとに子どもたちの名前を書きました。これから草取りやわき芽とりなどしっかりと世話を行なっていきます。たくさんおいしい野菜ができるといいね。

2018年 8月号
発行日: 7月16日発行 (Vol.698)
発行: 生活協同組合コープおおいた 大分県大分市青崎1-9-35
編集: 役員室 広報課
お知らせやイベント情報をホームページで掲載!



6月19日(火)「第67回 通常総代会」後に開催 「福島復興支援 交流報告会」

コープふくしまから戸義広常務理事とふくしま未来農業協同組合から鈴木一三常務理事が来県され福島の実況について報告をいただきました。また、4月17日～19日に福島県にて復興支援交流訪問を行なったコープおおいたの職員2名も報告を行いました。「コープおおいたをはじめ大分県の皆様からのあたたかいご支援に感謝申し上げます。これからも福島は力を合わせて頑張っていきます。」と熱いメッセージと感謝の言葉をいただきました(下記の文章は省略して掲載しております)。

「福島復興支援 交流報告会」の詳細は右記のQRコード、もしくはコープおおいたのホームページで



『なぜ?なに? 甲状腺検査』

生活協同組合コープふくしま 常務理事 戸義広様

甲状腺検査の結果に対する知識が少なかったために、子ども達の診断結果の違いで心配になる親の不安を払拭するための学習会などコープふくしまでは組合員さんたちが安心して暮らせるように、様々な学習会を行っています。

もし、甲状腺がんを発症しても手術で治ることが多く、1週間ほどで以前のような生活に戻れます。ただし、早期発見のためにも今後も継続した検査が必要となります。今後も学習会に参加してもらい、正しい知識を身につけることが重要だと広報し続けていることなどを報告していただきました。



『震災原発事故から7年 ふくしまの農産物』

ふくしま未来農業協同組合 常務理事 鈴木一三様

「福島の商品は汚染されている」というイメージを払拭するため、これまでに水田や樹皮の表皮を削り洗浄するなどの除染作業や水田、果樹園、大豆畑等合計で92,029箇所の土壌調査も行なってきました。原発事故以降、基準の数値を超えた商品は、農協から出さない、出荷しないなど徹底的な管理をしています。

現在、福島県内で生産された全てのお米は厳しい検査基準をクリアしたものが流通しています。しかし、様々なアンケート調査や市場価格などの結果を見ると、残念ながら風評被害はまだ続いていますと現状について報告していただきました。



『7年経過した 福島の実況』

生活協同組合コープおおいた 商品政策室: 塩月 聖奈 理事会事務局: 志賀 なつき

3日間福島県に訪問させていただき、風評被害からの回復に向けた様々な方たちの努力、工夫などを見てきました。新地町では住民が戻り、新しい住宅が再建されるなど復興に向けたうれしいニュースを聞くことができました。昨夏の「ふくしまっ子応援プロジェクトVII」に参加した子ども達からも楽しかった等の感想を聞きうれしく思いました。今回の訪問で、私達は福島県産の商品は安心・安全であることを再確認しました。正しい知識で消費者に説明し、買い支えていくことが今後の私達にできることであると思いを報告していただきました。



「第13回 食育推進全国大会 in おおいた」 「エシカル消費」ブースを出展しました



※エシカル(倫理的)消費とは
「安い・おいしい・便利」だけでなく、「地域や環境、社会や人々」に配慮してモノやサービスを利用する消費のあり方を示す言葉が「エシカル消費」です。生協では、エシカル消費を「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、積極的に取り組んでいます。

6月23日・24日の2日間に渡り、JR大分駅・J:COMホール大分周辺を中心に「第13回 食育推進全国大会 in おおいた」が開催されました。

コープおおいたは「エシカル消費」の普及を目的に「学ぶゾーン」のブースに出展しました。「エシカル消費とは?」のパネルや「エシカル消費」につながる商品の展示と、「エシカル消費」についてDVDを放映し、説明を行いました。アンケート調査によると、来場者の93.2%の方が「エシカル(倫理的)」という言葉を知らないという結果でした。

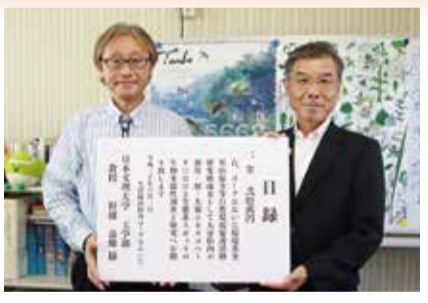
ブースには2日間で1,000名を超える来場者があり、熱心に耳を傾け、パネルを見ていかれる方も多数いらっしゃいました。この出展により、多くの方に「エシカル消費」を知っていただける機会となりました。コープおおいたの店舗でも、このイベントに連動して「エシカル消費」の売り場を設置し、お知らせを行なっています。

コープおおいたは、「エシカル消費」に関する商品の学習機会を増やし、徹底した商品普及を図ることで利用結集に取り組み、社会貢献につなげる活動を行なっています。学習会希望の委員会等がございましたら、商品政策室 (097-524-0122)までご連絡ください。

来場者アンケート

- 食を通じて環境や社会、それに関わる人々に対して消費者側から貢献できることを知りました。地産地消が地域に貢献することはこれまでも考えてきましたが、その他の事についても消費者からできることを始めたいと思います。
- 普段買っている物も、なるべく対象の物を買おうと思います。寄付はなかなかできないけど、こういった買い物でも寄付できるのはとてもいいと思います。
- 良い機会(夏休み前)に知れてよかったです。自由研究で子どもと一緒に調べてみようと思います。
- 未来の続く世界の実践のためにエシカル消費を進めていきたいと思いました。多くの支援もしており、素晴らしいと思いました。

第3回 里山保全等 環境保護活動 研究助成金贈呈式



6月1日(金)、日本文理大学の杉浦嘉雄教授の研究室にて「第3回 里山保全等環境保護活動研究助成金贈呈式」を行ないました。昨年度に引き続き、杉浦教授の「生物多様性重視型農業が自然化環境に及ぼす効果に関する研究」に助成金を支給させていただくことになりました。

杉浦教授は全国愛鳥教育研究会に所属しており、自然保護、野生生物保護について研究されています。また、生物多様性の保全と持続可能な活用を行なうことが目的の祖母・傾・大崩コネスコエコパークにも精力的に参加しております。

贈呈式当日は環境基金委員会が研究室を訪れ、杉浦教授より助成金を使用して研究する予定の内容について、お話を聞きました。

その後、井上委員長(写真右)より助成金の「目録」を手渡し、無事贈呈式を終了しました。

「里山保全等環境保護活動研究助成金」は宅配のカatalog・集品袋のリサイクル収益やレジ袋削減の益金を「環境基金」として毎年積み立て、環境基金委員会で基金の用途について協議を行ない、環境に関することへ有効に活用していくことで決定されています。

5月26日(土) 参加者:26名(9家族:大人16名・子ども10名) 産直交流会 in 鈴木養鶏場

コープおおいた「産直たまご」の産直生産者である(有)鈴木養鶏場で産直交流会を開催しました。参加された皆さんには生産者のこだわりや、新鮮なたまごが届けられる過程を学習していただき、生産者と直接語りあい、お互いの顔が見える交流をしていただきました。

(有)鈴木養鶏場のたまごへのこだわりや環境に優しい鶏舎のことなど、分かりやすくまとめられたDVD映像を観ていただきました。また、試食タイムでは、たまごかけご飯や目玉焼きをおいしく召し上がっていただきました。

参加者からは、「想像以上に最新設備で機械化され、その日のうちに出荷されるとのことでDVDを観ながら「すごーい」の連発でした。エサについても、厳しい基準をクリアされたものと聞き、こんなたまごが生協から届いて、食べていたんだ!と嬉しくなりました。」などの声をいただきました。



2017年度 各種募金状況のお知らせ

2017年度にお寄せいただいた各種募金金額は下記の通りです。寄せられた募金は関係機関の団体を通じて、災害復興支援や飢餓、貧困、平和などの活動に役立てられています。ご協力ありがとうございました。

2018年度も引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。



2017年度 各種募金状況 「ハンガー・フリー・ワールド支援募金」は ハガキ等の換金実績です。	ユニセフ募金 937,105円	平和活動募金 26,090円
東日本大震災福島支援募金 48,874円	ふくしまっ子応援プロジェクト募金 46,400円	ハンガー・フリー・ワールド支援募金 1,311,714円

2018年度 募金番号のご案内

コープおおいたでは、継続的に続けている下記の募金について、年間を通じていつでも募金できるようになりました。

ユニセフ募金	1口100円の募金番号 2:8:2:3	平和活動募金	1口100円の募金番号 2:8:2:0
	1口1,000円の募金番号 2:8:4:3		1口1,000円の募金番号 2:8:4:0
東日本大震災福島支援募金	1口100円の募金番号 2:8:6:4	ふくしまっ子応援プロジェクト募金	1口100円の募金番号 2:8:5:1
	1口1,000円の募金番号 2:8:6:5		1口1,000円の募金番号 2:8:6:1

2018年度 第一四半期 経営状況報告

第一四半期が終了しました。供給高は、43億8788万円、予算比97.64%、前年比100.41%で推移しています。宅配事業、店舗事業とも予算を割り込みましたが、宅配事業は前年比102.03%となっています。店舗事業は前年を超えている店舗はあるものの、依然厳しい状況で推移しています。

2018年4月から6月度供給高実績表(総合計) (単位:千円・%)

	供給高	予算比(%)	前年比(%)
店舗事業			
コープうすき	227,157	98.12	99.67
コープ南大分	309,295	94.88	94.87
コープ本町店	49,674	99.55	99.25
CO・OPふらいる	367,284	94.42	95.53
コープつくみ	167,414	96.05	96.62
コープ下郡	264,976	98.87	99.14
コープ大分駅店	382,094	96.00	100.02
コープ別府店	203,759	102.39	106.78
小計	1,971,657	96.85	98.49
宅配事業			
畑中センター	682,758	97.71	100.81
二目川センター	334,642	96.37	100.24
三重センター	473,189	98.54	102.49
日田センター	156,026	101.00	106.20
宇佐センター	337,090	100.51	102.63
日出センター	432,523	97.79	103.01
小計	2,416,230	98.29	102.03
移動店舗販売事業	67,088	106.35	134.25
供給高合計	4,387,888	97.64	100.41

	事業収入	予算比(%)	前年比(%)
福祉事業	30,702	103.16	124.21
保育園事業	4,545	87.20	82.83

※移動店舗販売事業高は店舗事業に含まれます。

「生協10の基本ケア」

利用者への尊厳を護り、自立した在宅生活を支援するための「生協10の基本ケア」を全国の生協で本格的に導入しました。

超高齢化の進行が進む日本では、2025年に向け、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができる地域包括ケアシステムの構築が進められています。2018年4月からは介護報酬が改定され、自立支援・重度化予防の取り組みがさらに強化されました。

「生協10の基本ケア」の特長は、利用者ご自身の「ふつうの生活」を取り戻し、利用者・家族のQOL(生活の質)を高めていくもので、市民生活協同組合ならコープが母体である社会福祉法人 協同福祉会が2006年4月から実践してきた考え方を元にしています。



「生協10の基本ケア」実践の場、大分県立総合福祉センター(大分市)にある2号館

コープおおいたでも、この「生協10の基本ケア」を行なっていきます。

生協10の基本ケア

*それぞれの考え方は次回

1. 換気をする
2. 床に足をつけて座る
3. トイレに座る
4. あたたかい食事をする
5. 家庭浴に入る
6. 座って会話をする
7. 町内にお出かけをする
8. 夢中になれることをする
9. ケア会議をする
10. ターミナルケアをする

お問い合わせは
デイサービスセンター にじいる ☎(0972)63-6200
デイサービスセンター にじいる2号館 ☎(0972)62-3355
デイサービスセンター にじいる二目川 ☎(097)520-2210

2017年度 回収量の報告

2017年度も多くの組合員の皆さんに、コープおおいたの様々な環境活動にご協力いただきました。

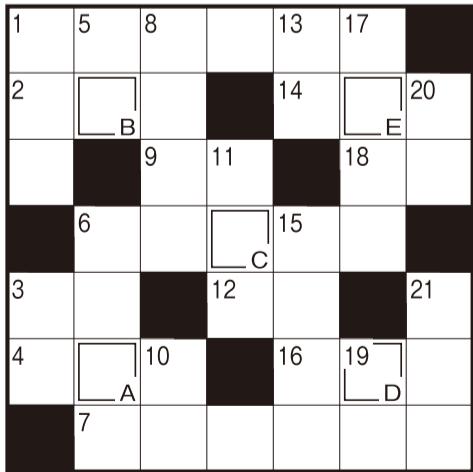
古紙類 (牛乳パックとカタログ等) 約88万3,927kg (前年比103.36%) 回収量の7割がトイレトーパーやティッシュの実質の原料となります。 コアノンロール130m(S)1個276gで換算。約224万1,843ロールが再生されました。	タマゴパックの回収量 (共同購入・個配対象) 約3,398kg (約16万9,900枚) (前年比69.35%) 1パック約20gとして換算。タマゴパックとして再生されました。中にはリサイクル対象外の素材も含まれていましたが、それらはベレット化され繊維材料となりました。	プラスチックトレーの回収量 (店舗のみ) 約2,445kg (48万9,000枚) (前年比101.95%) 枚数は1枚平均5gとして換算。トレー1tあたりに原油2,400ℓ(原料+製造するためのエネルギー)が使用されています。	マイバッグ持参率 449万6,827人 (前年比94.85%) マイバッグ持参率87.58%。レジ袋1枚に原油10mℓ(原料+製造エネルギー)が使用されています。	ペットボトルの回収量 約1,581kg (約63万個) (前年比58.56%) 回収したペットボトルキャップは、回収業者を通じてプラスチック原料としてリサイクルされます。	集み袋・カタログセット回収量 約4,625kg (154万125枚) (前年比85.65%) 1枚平均3g(333枚/1kg)として換算。リサイクルポリ袋として再生されています。	廃油回収量 (店舗のみ) 約4万8,960ℓ (前年比92.15%) ドラム缶に換算すると、約245本分に相当。バイオディーゼル燃料として生まれ変わっています。 ※コープおおいたでは燃料として使用せず、廃油の回収のみ行なっています。
---	---	--	---	---	---	---

※コープ大分駅店はテナント出店のため、リサイクル回収BOXの設置ができず、対象外となります。

パズル

懸賞問題 二重枠に入った文字を、Aから順に並べてできる言葉は?

パズル制作/ニコリ



- ヨコのカギ**
1. 暑い夜は、かけぶとんの代わりに——をかけて寝ています。
2. 上を障子やフスマが滑る。
3. 暑い季節です。
4. 爪先の反対側にある。
6. 大分県の県花で県木です。
7. 今月のパズルはこれ。これから月替わりでいろいろなパズルを掲載しますのでお楽しみに。
9. あれこれと——を焼く。
12. 姫島——は、大分県で唯一の——。
14. SAはサーブ——の略。
16. 良いのは香りともいう。
18. しま模様のある猛獣
- タテのカギ**
1. ——多様なラインナップ。
3. ふたを開けたら、——は空っぽだった。
5. 岸から遠く離れている。
6. お寺のこと。神社——。
8. ここれがゆるむと、泣いちゃう。
10. 脂の多いマグロの身。
11. 束ねるのに使うリング。
13. 転ばぬ先の——。
15. 家の正面には面していないガーデン。
17. 気楽な茶飲み話、——のない話題に終始する。
19. リングみたいな英文字。
20. プリの——を煮物にした。
21. 広いこと。ワールド——。

今月はクロスワード

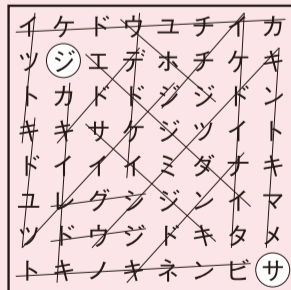
「タテのカギ」と「ヨコのカギ」の問題を解いて、白いマスに埋めてください。すべてのマスに文字を書いたら、A～Eの太いマスの文字を順番に並べて単語を作ってください。

あて先/〒870-0278 大分市青崎1-9-35
コープおおいた『虹のたより』コープパズル係まで
●eメール: niji@oita.coop ●締め切りは8月25日(土) [当日消印有効]です。
●当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



6月号シークワーズの解答

答え「ジサ(時差)」



当選者は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

パズル・くらしの知恵袋 応募方法

郵便ハガキ、もしくはeメールにパズルの答えと、①住所、②氏名、③年齢、④組合員番号[組合員番号は8桁の数字で、組合員カード・ポイントカード・注文用紙・納品書に記載しています]、⑤『虹のたより』への感想や「くらしの知恵袋」などをあわせてお寄せください。ペンネームでの記載をご希望の方は、あわせてご記入ください。いただいたおハガキは広報物に使用させていただきます。クイズの正解者10名の方には「味付けのり(卓上タイプ)」をプレゼントいたします。正解者多数の場合は抽選となります。「くらしの知恵袋」が採用された名の方には「産小豆の豆乳リングビスケット 230g」をプレゼントいたします。

くらしの知恵袋

娘が嫌いなトマト克服法です。親指くらいの大きさに切って皮を下にしてオイルで焼いて焦げ目がついたら塩を振りまきます。卵をといて流し込み、まぜないでふわっと仕上げます。レタスの上におくとキレイですよ。(大分市 クレソンさん)

らっきょう漬ける漬け汁に玉ねぎをスライスして漬けると食べやすくなりおいしくなります。今までは処分していたけれどもったいない事してたと反省しています。(大分市 藤澤千賀子さん)

そら豆は、黒い部分に包丁で浅く切り込みを入れてからゆでると皮が剥がしやすくなります。(大分市 たまさん)

6月のコープおおいた

- 組合員数...164,528世帯
生協に加入している世帯数です。
- 出資金...5,570,332千円
出資をもとに生協の運営を行ないます。